



浅間ヒルクライム2018 in 嬬恋

2018/11/3 (土) ~11/4 (日)



浅間ヒルクライム 実行委員会

■企画趣旨と目的

『地域振興』と『自動車文化の成長』に寄与する交流型イベント

地域振興において確実な成長と成果

浅間ヒルクライムは、発足当初から地域を中心とする実行委員会が企画立案、地元ボランティアの協力、自動車ファンの熱意の後押しに、費用は自動車メーカー・関連各社の協賛費と参加料によって運営しております。

当初より「地域振興・地域の活性化」を提唱し、地域を盛り上げる観光振興イベントと自動車を巡る環境が変わる中で、自動車文化の新たなムーブメントを意識・融合した、全く新しいスタイルの「地域振興イベント」として取り組み、展開しております。

ヒルクライムイベントは、世界各地で開催され、地域に根付いた文化としてたくさんのギャラリーを集める「開催地のお祭り」として根付いており、地域情報の発信・伝達、観光誘致において大きな成果を生み出しています。

本大会は2012年にスタート、2014年からは、地元行政、商工関係団体、観光協会をはじめ各方面からの甚大なご協力・ご支援により、交通規制環境下において日本初となるヒルクライムを実現しました。

以後、来場者の数は年々増え続け、2017年に開催された同イベントは来場者22000人を超えるまでに成長し、開催地であった小諸市の宿泊施設は満室に近い状態になり、近隣市町村の宿泊施設にも効果波及が生まれました。観光、飲食、土産などに大きな経済効果も生んでいるという声も頂戴しております。世界各国のヒルクライムイベント同様、日本においても地域活性・観光振興に寄与するイベントとしての確かな位置を築いてきています。

日本の自動車文化創出の新たな扉

日本の自動車産業は、海外メーカーに追いつくため必死に性能向上につとめたことにより、世界に誇れる産業へと発展しました。歴史的にも、戦後自動車産業の発展に大きく寄与した「浅間高原自動車テストコース」があった土地でもあり、今回浅間ヒルクライムを通して、嬭恋村から時代を超えて自動車文化や魅力を再度発信して参りたいと考えており、道路占有下で行われているマラソンや自転車イベントと同様に自動車イベントにおいても理解ある環境となることが、自動車文化構築に必要な要素であると考えております。

新しいステージで新たな夢の実現を

2018年の大会は、過去に浅間高原自動車テストコースのあった群馬県嬭恋村を中心とする新たな会場で実施されます。

■ヒルクライムデモンストレーション

ヒルクライムは主に上り坂を利用し、一定区間の走行タイムを競いますが、浅間ヒルクライムでは安全運転が可能な参考タイムを設定し、それに最も近いタイムでの走行を競い合う大会にしています。

ヒストリックカーから最新スポーツモデルそしてサーキット専用モデル（公道封鎖により、ナンバーの無い特別な車両も走ります）が一台ずつ走行します。

MCによる車両解説で進行しますので、普段目にする事のない非日常の時間を目の前で体感できる、誰でも楽しめる観光イベントとなっています。



■公道パレードラン

開催地の嬬恋村内の公道を参加車両がパレードし、自治体がヒルクライムに関連したイベントを開催予定

※詳細は別紙参照



■各種イベント（予定）

- 新車発表会、車輛展示・トークイベント・各種出展・地産、観光PRコーナー
- ・ 嬭恋村観光PR（嬭恋村観光商工課様）
- ・ トラクター交通安全啓蒙T-GP（長野原警察署様）
- ・ パトカー、白バイ展示&デモンストレーション（長野原警察署様） ほか



新たな交流型観光イベントの創出と「浅間からもう一度」

本格的自動車専用サーキット発祥の地である浅間山麓。

そんな浅間が、いまふたたび自動車文化発信の一助を担います。

昨年の浅間ヒルクライム2017は、小諸市及び周辺地域の観光・特産品など地域の魅力を発信することを最大の目的として掲げており、来場者も22000人と過去最大の集客を記録しました。

このイベントを目的に訪れる世界中の方々は、イベントを盛り上げる地元スタッフと交流し、想像を超えた広がりを生みられました。そして宿泊先での交流体験では、浅間を身近な地となるきっかけが生まれ、イベント後も訪れる地になると確信しています。

この「浅間」という名称は、乗り物ファン、そして、自動車業界にとって、今なお深く記憶に残っています。これからも、戦後復興下における自動車性能向上を目的として誕生した日本初の自動車専用「浅間高原自動車テストコース」が存在した場所として、歴史的価値と認知を広く高めることになるでしょう。今年のヒルクライムは、浅間高原自動車テストコースがあった群馬県嬭恋村にて開催されます。

そんな浅間から「もう一度」発信されることになった「日本初」のイベントが浅間ヒルクライムです。日本で一般公道封鎖のヒルクライムイベントが開催されたことは、衝撃を持って受け止められました。現在、浅間ヒルクライムの開催は、日本のみならず、世界の乗り物ファンが開催地に訪れるきっかけとなっています。地域振興と自動車業界再生に大きく貢献できるイベントに成長させて参りたいと考えています。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社MOTOTECA 浅間ヒルクライム 運営事務局（本部）

〒389-0102 長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢1323-1452 MOTOTECA軽井沢内

TEL:0267-41-0946

E-MAIL: contact@asama-hillclimb.com

コース全体

《コース全長 D〜B間》

A:パルコール婦恋	B:パノラマ北入り口	距離(km)	時間(m:s)
B:パノラマ北入り口	C:愛妻の丘	4.1	6:00
C:愛妻の丘	D:農機具ステーション	4.5	5:00
D:農機具ステーション	E:国道144号交差点	2.4	3:05
E:国道144号交差点	F:田代信号	1.4	1:30
F:田代信号	E:国道144号交差点	1.9	2:35
B:パノラマ北入り口	E:国道144号交差点	1.6	1:47
	G:ガソリンスタンド	3.3	3:44

茨木山

パルコール婦恋
(メイン会場)

リエゾン
(車両移動区間)

ゴール位置

計測コース

スタート位置

愛妻の丘
(観戦エリア)

ナンバー有り待機場所
(農機具ステーション)

車両移動区間

田代湖

メイン会場配置予定



メイン会場配置予定 (広域)

